

事業所における自己評価結果

公表:平成31年2月28日

回答数 12名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	活動によってスペースを確保できるよう工夫しています。	わかりやすく、安全な環境作りに努めます。
	2	職員の配置数は適切である	75%	25%	必要に応じて応援体制を整えています。	現在の体制で楽しめるようプログラムの工夫をしていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	83%	17%	お子さんにわかりやすい環境を作るよう努めています。	今何をしたら良いか、次に何かあるかなど、わかりやすい環境を作っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	83%	17%	掃除・温度湿度管理、空気の入替え等行っています。	今以上に清掃や快適環境作りに努めていきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	83%	17%	職員会議などで周知しています。	今以上に広く職員が参画できるようにしていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている			平成29年12月に開設したため、今年度より行っています。	継続的に実施し改善していきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価をするとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している			平成29年12月に開設したため、今年度より行っています。	継続的に実施していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			平成29年12月に開設したため、まだ受けていません。	今後実施予定です。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	83%	17%	職場内外で実施しています。会議で報告し周知しています。	継続的に実施していきます。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	92%	8%	お子さんに合わせて、初回または日々の個別の時間に実施しています。	内容の充実を図っていきます。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	92%	8%	お子さんに合わせて実施しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び以降支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	92%	8%	保護者の方のご意見を聞きながら、多職種の視点を踏まえて作成しています。	

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	見やすい場所に貼り、常に意識できるようにしています。	常に確認して実施していきます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	83%	17%	多職種で立案するようにしています。	参加出来ない職員への周知と時間確保の工夫をしています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	お子さんが楽しめる活動を実施するようにしています。	プログラムの内容、ねらいを丁寧に説明していきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%		
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	83%	17%	ミーティングの時間を設定し、計画的に実施しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	100%	0%	クラスでのミーティング時に実施し、記録も作成しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	時間の確保を工夫しています。	反省を通してPDCAを回していくようにしていきます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	92%	8%	日々の状況を踏まえて、見直しが必要な場合は実施していきます。	
	関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通したもっともふさわしいものが参画している	67%	33%	お子さんの状況がわかる担当が参加するようにしています。
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	75%	25%	必要に応じて行っています。	
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			医療的ケアが必要な子どもは在籍していません。子育て関係施設等連絡会に出席するなど、関係機関との連携を図っています。	保護者の方と相談しながら、連携をしていきます。
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			・現在、医療的ケアの対象となる子どもは在籍していませんが、医療的ケアについては保護者が主に行い、育成室では主治医に意見書等を依頼し連携を図っています。 ・小児科、神経科、整形外科の医師が協力医療機関となっており、毎月、健康診断を実施して保護者の相談にも対応できるように連携体制を整えています。	保護者の方と相談しながら、連絡体制をとっていきたくと思います。
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	75%	25%	ご希望の方、必要に応じて、電話や書類などで連携を図っています。	
26		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	75%	25%	必要な書類等を作成しています。	
27		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	42%	58%	東京都の研修や他の専門研修に参加しています。	職員全体の専門職としての質の向上に努めます。

	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%		今後実施できるよう検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	75%	25%	地域の会議へは参加させていただいています。	機会があれば積極的に参加させていただきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	集団や個別の時間にお伝えしたり、ご意見を伺うようにしています。	説明が不十分な面があり、丁寧な説明を心がけていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	67%	33%	ご質問のある方や必要と感じた方にご説明しています。	学習会開催又は、日々の中でお伝えしていきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	丁寧な説明を心掛けています。	継続的に丁寧に説明させていただきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	支援計画作成前に面談を行い、保護者のご意見を踏まえ作成。その後、ご説明させていただいています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	75%	25%	日々の関わりの中でご相談に応じるようにしています。	定期的に話をお聞きする時間を確保していきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	83%	17%	保護者会、親睦会を実施しています。	懇談会の回数を検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	92%	8%	相談の申し入れがあった場合は迅速に対応できるよう心掛けています。職員全体で状況周知しています。	保護者の方から相談しやすい雰囲気をつくり、対応は迅速に行いたいと思います。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	室だよりを発行しています。	今後も、室だよりやお知らせ等で情報の提供に努めます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	マニュアルに沿って対応しています。	今後も十分注意をして取り扱っていきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	わかりやすい説明を心がけています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	67%	33%	民生委員さんに行事へご参加いただき、理解を深めていただいています。	いろいろな方法を検討していきます。
非常	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	92%	8%	マニュアルは会議で職員に周知していません。訓練は災害を想定し、お子さんが混乱なく参加できるよう工夫しました。	保護者の方へのマニュアル等の周知を図っていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	お子さんが混乱なく参加できるよう工夫しました。	いろいろな災害を想定しての訓練をしていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	100%	0%	看護師が行い、職員全体で情報を共有しています。	

同等 の 対応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	対象の方に意見書をいただいています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	83%	17%	事例があった場合は速やかに報告。改善しています。	職員全体で情報の共有をしていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	92%	8%	会議でマニュアルの確認をしています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0%	100%	現在対象者がいませんので記載していません。	対象の方がいらしたら記載します。